

報告・協議 1

臨時休業中の学習に係るアンケート調査について

このことについて、別紙のとおり報告します。

令和2年6月12日

広島県教育委員会教育長 平 川 理 恵

臨時休業中の学習に係るアンケート調査について（速報）

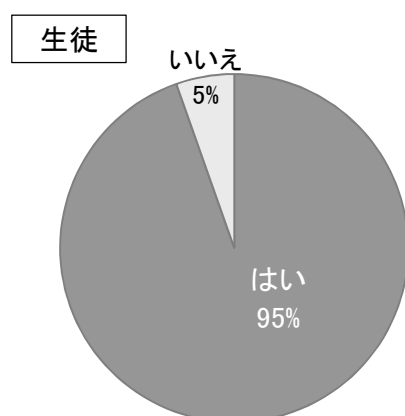
1 調査の概要

- (1) 調査目的 臨時休業期間中における取組を検証し、各学校の学習活動に生かしていく。
- (2) 対象者 県立高等学校の生徒
県立中学校・高等学校・特別支援学校の教員及び管理職
- (3) 調査項目 家庭学習の状況（ICT活用状況とその評価）、困りごとや不安等について
生徒 20 問，教員 40 問，管理職 40 問
- (4) 調査期間 6月4日(木)～9日(火)
- (5) 回答方法 クラウドサービスのアンケートフォームを使用
- (6) 回答数 生徒 22,313 名，教員 2,913 名，管理職 274 名

2 調査結果（主な項目を抜粋）

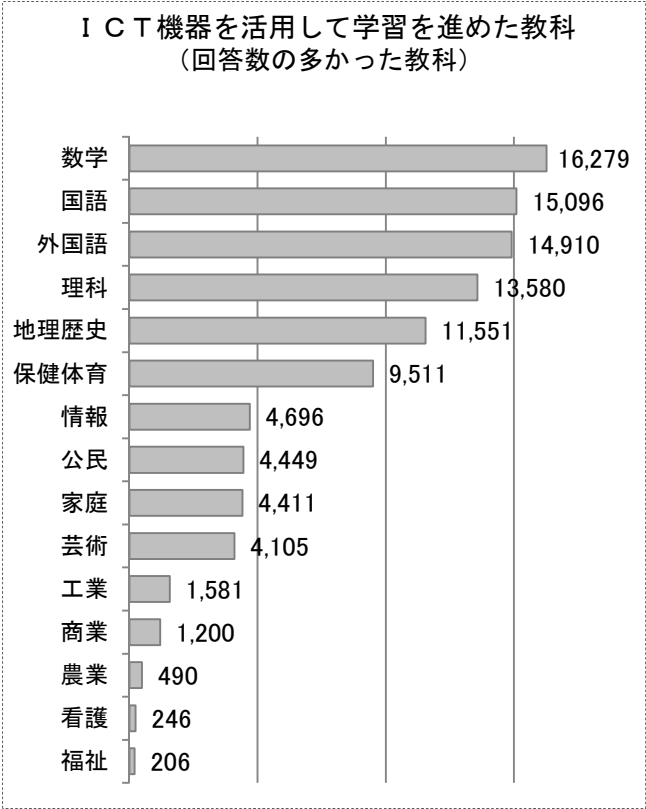
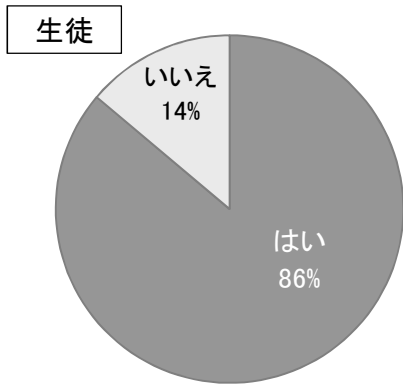
- (1) 臨時休業中に、クラウドサービスを活用した健康観察を実施したか。

大半の生徒がクラウドサービスを活用した健康観察を実施



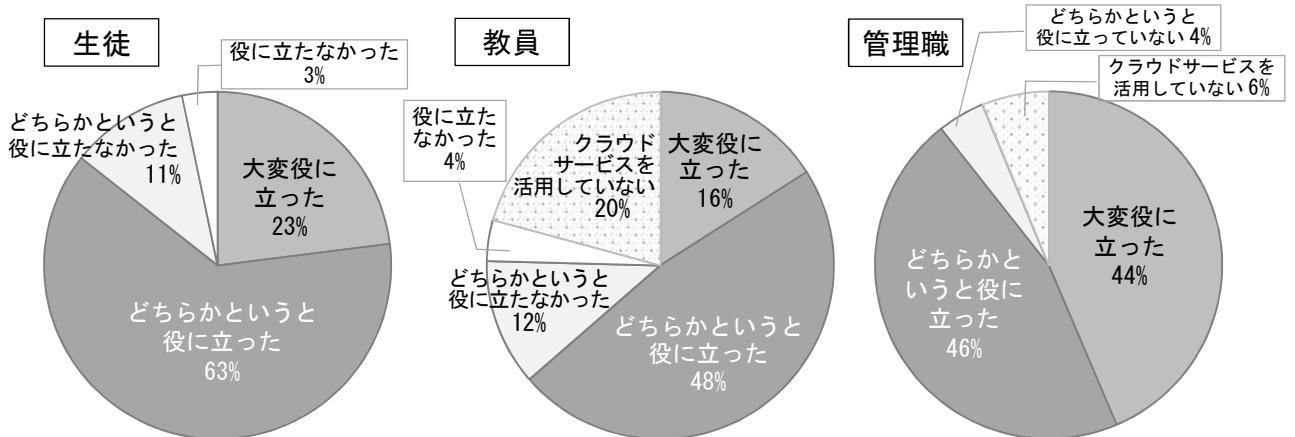
(2) 臨時休業中に、ICT機器を活用して家庭学習を進めたか。

86%の生徒がICT機器を活用した家庭学習を実施



(3) クラウドサービスを活用した学習支援は、どの程度役に立ったか。

生徒の86%、教員の64%（活用している教員のうち80%）、管理職の90%が、「大変役に立った」若しくは「どちらかというと役に立った」と回答
 ※教員については、担当教科の違いなどにより、クラウドサービスを活用していない場合があります、これを除くと80%となる。



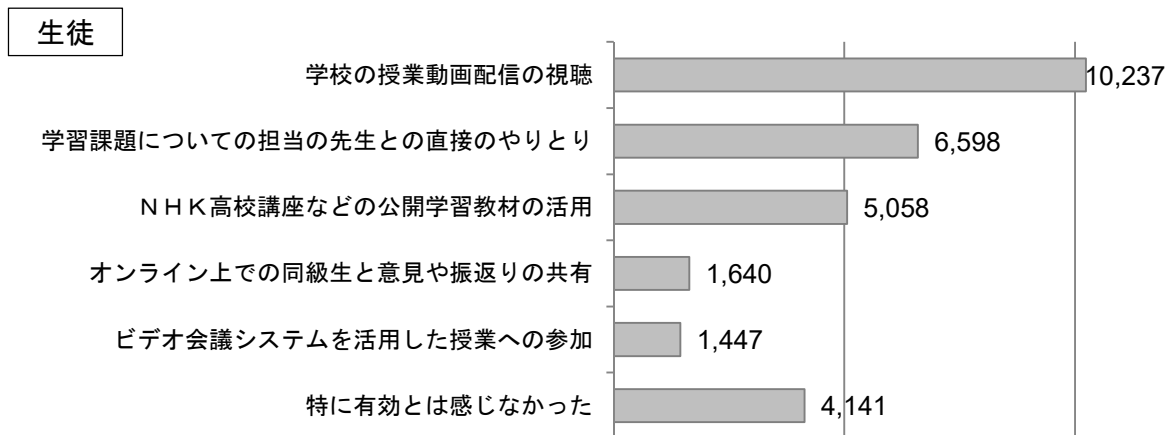
【自由記述回答(役に立った理由)】

動画の有効性, ICTならではのメリット, 学習面だけでなく休業中に生徒と学校をつなげるツールとなること, 規則正しい生活に結び付くことなどが挙げられた。

生 徒	教 員	管 理 職
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の動画がわかりやすく理解しやすかった ・わからないところを G Suite で先生に質問できた ・学校に行かなくても先生と連絡が取れた ・何も支援がなかったらとても困っていたと思う ・一人でやるよりはよかった ・授業があることで勉強始める時間が固定された ・自分で教科書を読むだけで理解するというのをせずに済んだ ・家で勉強するほうが向いていると思った ・wifi環境がない, ログインがなかなかできないなどにより, 逆に学習の時間が削れた ・実施していない先生がいるため差が出た 	<ul style="list-style-type: none"> ・郵送した課題だけでは説明が不十分なところを, スライドや動画などで説明ができた ・発言しにくい生徒に対しても限定コメントで対応することができた ・休校中, 授業がないことに対する生徒の不安感がかかり払拭できたのではないかと, 生徒からの声を聞いて感じた ・動画解説で理解が進む生徒がいた ・「日々の記録」の生徒のコメントから, 生徒理解がある程度できた ・こちらからのコメントで, 学習への動機づけができた ・初めての経験だったが, 長期にわたる休校の中, 生徒とのやりとりができるツールがあり, 役に立った ・何もしないよりはマシであったが, 双方向ではないので, 生徒の理解がどの程度できているかは不明 ・生徒のほぼ全員が G Suite を使える環境にあるという前提であったので, 物理的にも心理的にも教材配信がしやすかったが, 教員側の設備・環境や知識が追い付いていなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間割どおりにオンライン授業を行い, 規則正しい生活を送らせることができた ・学習の遅れもあまりなく, 学習支援が実現できた ・生徒は教員との対面では伝えられないことも, G Suite では伝えることができるので, 生徒個々の学習課題が明らかになった ・生徒の学習に対する姿勢が以前よりも少し向上した ・新型コロナウイルス感染症で言えば第2波での休業となった場合の学習支援の見通しができた ・今の状況を教職員が理解し, 新たな挑戦をしてくれ, ICTの活用に積極的になった ・教員が反転授業を意識するようになった ・課題指示方法が多様化したり健康観察の予約配信など, 授業づくりとともに業務改善・働き方改革にもつながった

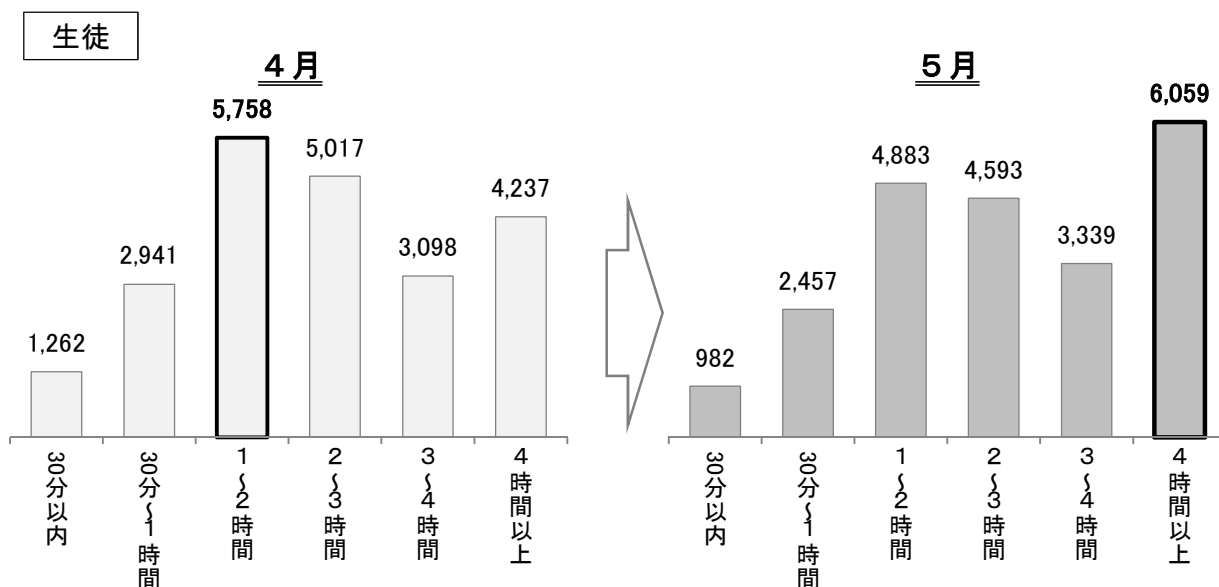
(4) ICT機器を活用した学習で有効と感じたもの

生徒がICT機器を活用した学習で有効と感じたものは、「授業動画配信の視聴」が最も多く、次いで、学習課題についての担当の先生との直接のやりとり



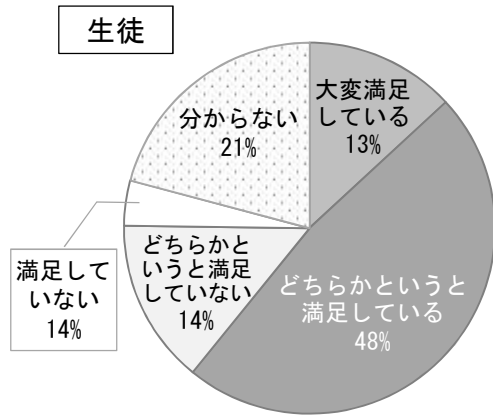
(5) 学校から出された家庭学習の課題への1日の取組時間

4月は1日当たり1～2時間が最多、5月は4時間以上が最多となり、生徒がしっかりと学習に取り組んでいる様子がうかがえる。
 (通常の授業時間に合わせた配信を行う学校が増加したことも影響していると考えられる。)
 ※本県においては、4月16日から5月31日まで、全県立中・高等学校で臨時休業している
 (特別支援学校については、4月16日から6月14日)



(6) クラウドサービスを活用した学習支援にどの程度満足しているか。

クラウドサービスを活用した学習支援に「大変満足している」若しくは「満足している」と回答した生徒の割合は 62%

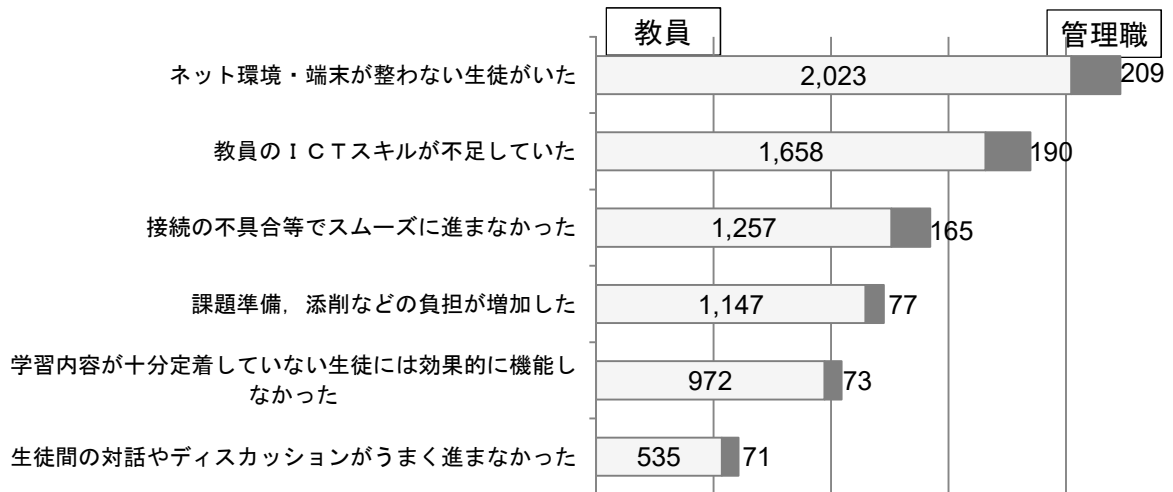


【自由記述回答】

- ◇ 先生に分からないところを聞きやすかった。
- ◇ 規則正しい生活を続けることができた。
- ◇ PCを前より使いこなせるようになった。
- ◇ なかったら全然勉強してなかったと思う。
- ◇ 動画が残っているため、いつでも振り返ることが可能
- ◇ 英検の対策ができるようになってくれた。
- ◇ 情報量が多すぎて少し使いにくかった。

(7) クラウドサービスを活用した学習支援の課題

クラウドサービスを活用した学習支援の課題として、多くの教員、管理職が、生徒のネット環境の問題や教員のICTスキルの不足を挙げている。

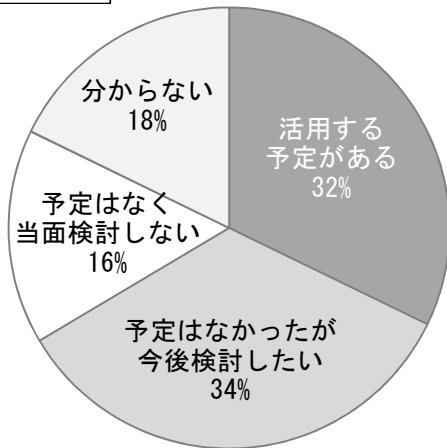


(8) 学校再開後、家庭学習用の学習課題のやり取りでICTを活用する予定があるか。

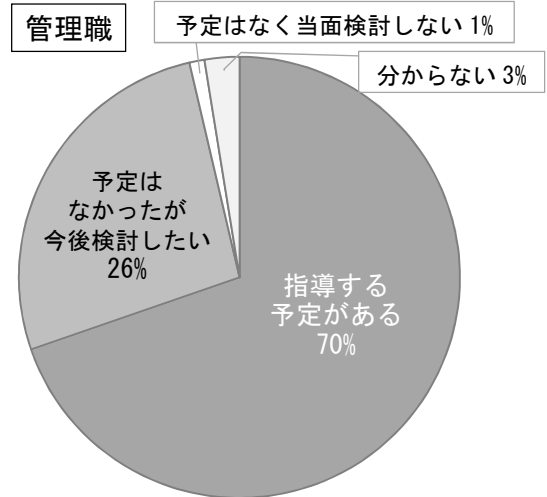
(管理職：学校再開後、家庭学習用の学習課題のやり取りでICTを活用するよう教職員を指導する予定はあるか。)

「ICTを活用（指導）する予定がある」若しくは「今後検討したい」と回答した教員の割合は66%、管理職の割合は96%

教員



管理職

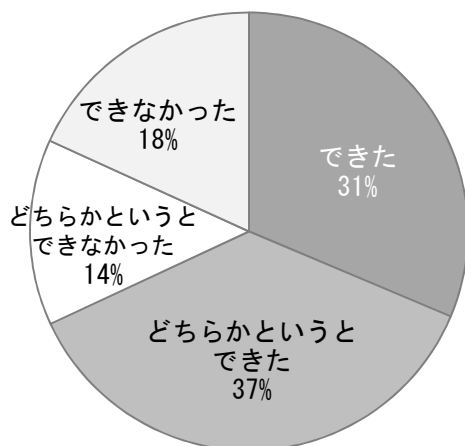


(9) クラウドサービスを活用した学習支援を通じた教員の協力体制・授業見直しの進展

教員の68%が担当教科内で協力体制をとることが「できた」又は「どちらかというのできた」、管理職の80%が教員間で授業の方法・内容等について見直しが「大いに進んだ」又は「進んだ」と回答しており、緊急時の中、クラウドサービスの活用を通じて、学校内で協力して学習支援を進めたことがうかがえる。

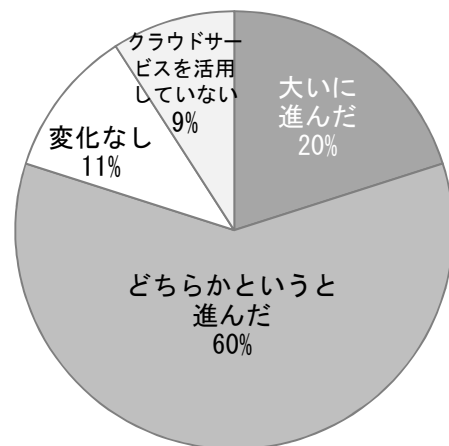
教員

担当教科内で協力体制をとることができたか。



管理職

教員間で授業の方法・内容等について見直しが進んだと思うか。

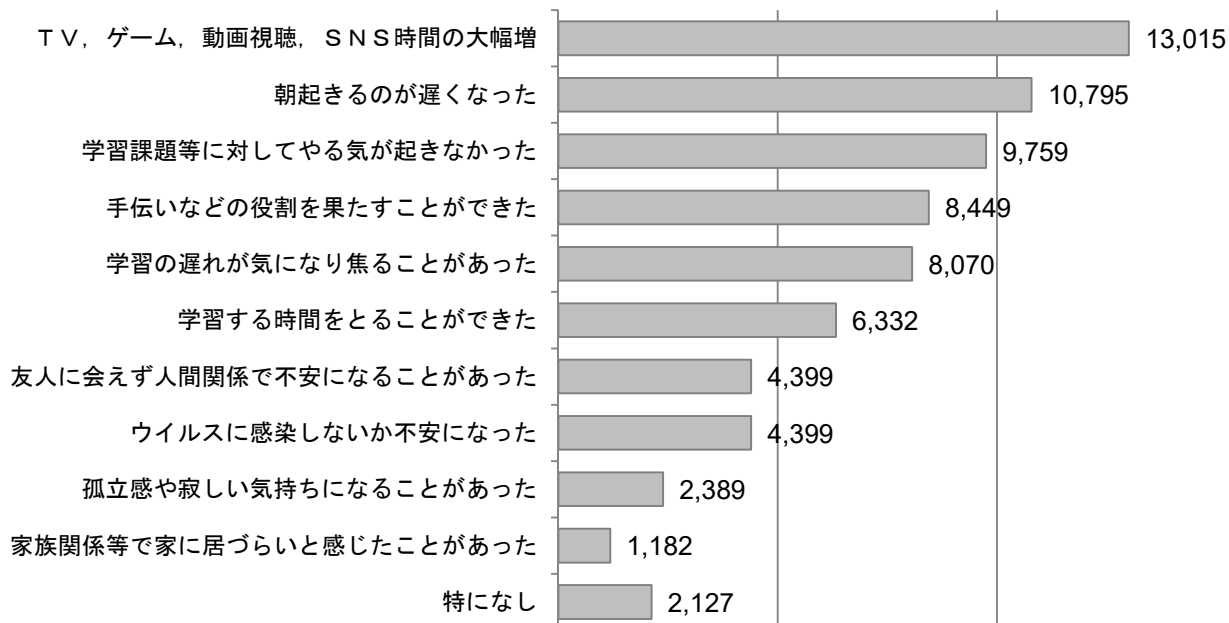


(10) 臨時休業が長引いたことによる日常生活や心や体の変化

臨時休業が長引いたことによる日常生活や心や体の変化として、「TV、ゲーム、動画視聴、SNS時間の大幅増」、「朝起きるのが遅くなった」といった生活上の課題を挙げている生徒が多い。

(こうした課題への対応においても、クラウドサービスを活用した学習支援等が効果的(2(3)役に立った理由参照))

生徒



(11) 臨時休業中の児童生徒の心のケアのため取り組んだこと

臨時休業中の児童生徒の心のケアについては、「電話での個別相談の実施」に次いで、「クラウドサービスやメールを活用した相談への応答」が多い。

教員

